

精神障がい者が働ける職場を

日立AP清水事業所
と関連会社で働く
人のネットワーク



2009年12月

No. 25

発行：オアシス

編集委員会

連絡先：多田義幸

TEL

090-9121-0602

モデル企業になった日立

厚生労働省による「精神障がい者雇用促進モデル事業」のモデル企業として、日立が委託を受けました。まだ始まったばかりで、内容も周知徹底されていませんが、積極的な対応が求められます。

日立製作所では、「精神障がい者が私たちと同じ職場であたりまえに働くことができる環境の創造」というテーマを掲げ、取り組んでいます。

日立が設定した課題

雇用に関する職場内の理解促進障がい特性に応じた職域開拓
職場でのサポート体制の整備
地域の保健・医療・福祉施設等との連携体制の構築
働きやすい職場環境の整備
雇用した障がい者に対する研修

課題を実現する行動

精神障害者雇用促進チーム
の設置
ポータルサイトの設置
講習会・勉強会の開催
先進企業の視察
職域開拓コンサルティング
社内サポーターの募集・養成
精神保健分野の専門職の配置
ケース会議の視察と開催
精神障がい者グループ
就労訓練の実施
職場受け入れ体制の整備
SST（社会生活技能訓練）と
WRAP（元気回復行動プラン）
研修

以上に挙げるように、様々な対策が今後実施されるようです。しかし実施する上で、病気に対する正しい認識が必要です。そこで、統合失調症に関して紹介します。

統合失調症とは？

統合失調症は決して特殊な病気ではありません。だれもがかり得る病気です。

健康な状態では、不必要な情報と必要な情報を区別して、取り入れるようにしています。その状態が、本来必要のない情報も取り入れてしまい、神経の働きが混乱してしまう、このような病気を統合失調症といいます。

統合失調症の症状は、
・不眠
・音に敏感になる
・幻想・妄想
・気分のかわりやすさ
などが挙げられます。
そして前兆期、急性期、消耗期、回復期を過ぎて安定期に向かいます。

安定期にあっても、いくつかの症状が残っている場合もあります。が、服薬や精神療法などでコントロールしながら社会で活躍している人たちは大勢います。

そして周囲の人たちの理解と協力は何よりも大切な力となります。